



上島町

議会だより

No. 12

2008年7月

編集 上島町議会広報編集委員会

発行 上島町議会

〒794-2592 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削210番地 TEL 0897-77-2500



上島クリーンセンター竣工式

(写真は3月26日 上島クリーンセンター竣工式での田窪議長)

主な内容

- 一般質問 2~5P
- 議会の活動 6P

3月定例議会

一般質問

3月10日に開催された第1回定例会においては、9名の議員が一般質問を行いました。質問内容と答弁の要旨は次のとおりです。

(掲載の順序は質問順で、記事の内容は基本的に質問議員が編集しています。)

濱田 勝祐 議員



生名海光園の嘱託医師を早急に募集せよ

Q この何年間は、海

光園の医師は弓削から診察にいられていますが、大変御苦労で感謝が、大まかに申し上げる次第ですが、やはり地元の医師でないと緊急の場合助かる命も助からない事もある。また、脳血栓梗塞など脳に関する病気が1時間以内処置しないと快復は難しいと言われている。

人命は何よりも尊い。町も条件面など負担し地元に住んでいただけの医師を募集しては。

A (上村町長) 看護師を配置し24時間対応しており、新救急艇「ゆうなぎ」を配備し体制の強化を図ったところです。

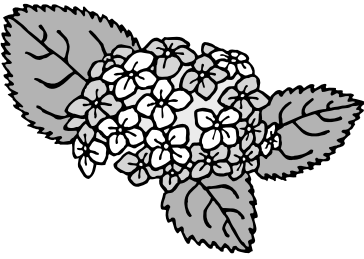
A (村上海光園長) 看護師、介護士も含めて全員で健康管理に努めています。当園は事前に容態を協議しながら早めに病院受診で対応していま

す。

Q 看護師の場合は限界があり、医師の判断がなければ注射1本出れない。

A (上村町長) 地元に医師がいれば昼夜船が欠航しても適切な対応が出来る。前もって分かる病気は良いが、病気は予約できない。緊急な場合は、地元でないと間に合わないし住民も不安である。

A (上村町長) 行政側としても開業医の方に、その島を守っていた多くのが本当に理想であります。



原 博彦 議員



各地区のじん芥収集運搬処理業務の見積入札について

Q 1月15日付で業務の受託者募集広告がなされ、1月21日に業者説明会を開催し、1月28日までに見積書他関係書を提出させ、2月29日に候補者選考結果を評価点(96点〜24点)付で公表した。

A (丸山生活事業課長) 指名競争入札にしな理由は。

A (丸山生活事業課長) 本年4月1日より弓削、生名、岩城地区の処理を時期を失することなく適正に行うために契約を約束する見積入札でなく、指名資格

に適合する業者が上島町に殆どなく公募方法といたしました。

Q 評価点は選定委員会で行ったのか。

A (丸山生活事業課長) 廃掃法施行令により生活事業課で総合的に判断しました。

A (上村町長) 採点方法、決定事項及び入札、随時契約についても行政側の裁量によるものです。

Q 当初予算の審議前に見積等を参加業者に提出させ、候補者選考結果公表等一連の行為は契約行為ではないか。

A (丸山生活事業課長) 契約行為、支出負担を伴う行為ではありません。

A (上村町長) 他町村の実績等により判断し、予算審議後では時間的に不可能です。

※後日当初予算審議に

入る前の協議会で町長より、2月29日付の選考結果は白紙にもどし見積書等を再提出してもらい、評価については選定委員会で行い、結果は全て公表すると説明があった。

寺下 満憲 議員



じん芥収集業務委託制度にした根拠を示せ

Q 本年度4月からじん芥収集業務が民間委託されます。

A 先の12月議会では、町長は、民間委託の方がサービスマン、費用面で新しい制度にすることで安く上がると答えましたが直営・民間方

式を比較した場合の計算式数値を示してください。

A (丸山生活事業課長)

費用の面ですが、業務につきましては、主に役務の提供にかかる業務委託料です。

人件費に係る費用については、現在直営の岩城地区での比較ですが、業務委託すること約243万円安価が見込まれます。

直営の場合ですと職員の休暇、祝祭日、急病への対応等が必要ですが、委託であれば受託者の責任であり余分な人件費を計上することなく安定した業務が出来ます。

また、直営の場合には、委託にかかる人件費の労務単価の上昇率より職員の昇給率のほうが高く、将来において費用がより高くなるかと判断をしました。

「まちづくり懇談会」の回答は実現する」と

Q 町長は、就任以来各地域において、まちづくり懇談会を進めています。地区への回答対応は「思っています」「考えております」または「検討しています」という言葉で締めくくっている場合が多くあります。

私たち住民は「出来る」「出来ない」の回答を望んでいます。生名地区西浦集会所懇談会での要望案件を実現する方向にあるならば「このように進めていきます」と報告をいただきたい。

A (柏原生名総合支所長)

町道立石大江線は、町としても拡幅改良できれば、その事業効果は大きいものと認識し

ております。

そのためには、用地の確保が必要です。関係する地権者には、今年度になりまして、今年度で意向を伺いましたが、残念ながら良い返事は得られませんでした。

今後も、引き続き実現できる方向で進めていきますが、地域自治会など地元との協力がないければ非常に難しい状況であります。



竹村 秀夫 議員

平成20年度予算編成等の冊子の発行について

Q 上島町が誕生し、合併後から現在に至る

までの行財政基盤の確立、社会資本施設整備など、如何に推進したのか、また、より一層の財政健全化が求められる本年度の当初予算、事業計画、財産、基金、地方債の現在高、その他の財政状況の概要等を住民に分かりやすい冊子の発行について町長のお考えは。

A (上村町長)

町村合併後から、現在に至るまでの行財政基盤の確立、社会資本等の整備の推進、事務事業の一元化や制度改革等、町民の皆様にとめてお知らせする義務があると考えております。

また、広報「かみじま」の中で、毎年5月号に掲載している当初予算等の説明内容を工夫充実させ町民の皆様に分かりやすくしていきたいと考えております。

す。

経費等も考えますと冊子の発行は、財政厳しい折でもあり極力控えるべきであると考えております。

宮脇政敏議員



災害対策について

Q 先般、岩城で地震や風水害に対する救済への講演会がもたれ意見を聞く話し合いがなされました。

災害時に一番大事な事は上島町において高齢者が多い中で、手足の不自由な障害者や一人暮らしの寝たきり老人、日常手押し車がなければ歩行が困難な人達が地震や風水害の時

安全な所へ避難するのに消防署・消防団とかが組織的にどう救済するのか、前回の訓練でも障害者や手足の不自由な人達への救済措置はありませんでした。

日常茶飯事住民の近所の人達が一番状態をよく知っているわけですから区長、班長等を含め何時でも救済出来るしくみが必要と思うが対応は。

A (宮川消防長)

独居高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦等災害時要援護者の避難支援には、近所に住む方や自主防災組織の支援が必要不可欠です。

この件については、現在関係課と協議しており、今後は、自治会や自主防災組織の協力を頂きながら進めたいと考えております。

定時制高校の跡地利 用について

Q 3月2日で岩城の定時制高校は閉校となったが、その校舎と跡地利利用について、町長は当面行政側には福祉施設等への予定計画はないとの事でしたが、造船関連労働者は外国人を含め沢山入っています。

この人達の定住促進の宿舎として早晚払い下げを受ければ有効利用となり、町への税収も見込める。

県に対し早期の払い下げを求め、その後は、定住促進と上島町への税収増への配慮を求めたものですが考えは？

A (上村町長)

校舎は県が所有しております。払い下げが実現すれば20年度の早期に利用方法を検討い

たしたい。



平山和昭議員



安心して住みたく なる町への一歩をいそ げ

Q 派遣医師を受け入れられる体制づくりに向け今から少しずつでも関係設備の充実に動き始めたらどうか。

A (松浦健康推進課長)

上島町の医療体制としては、現在の開業医

における医療体制の確保を基本方針としています。

これからは出来るだけ「医者にかからなくて済む」ように、予防医療・介護予防への取り組みを進めてまいります。

昨年8月、県の医師確保対策職員と一応相談しました。

上島町の3つの開業医、町立診療所という状況は「まだまだ恵まれている」ので現況で派遣を要望してもとても無理との見解でした。

県のドクターバンク制度への現在の登録者数については「零」と認識しています。

定住促進事業に本気で取り組み

Q

上島町のホームページをみると、総務省の「頑張る地方応援プ

ログラム」に応募し、

認定を受けた上島町は本気で取り組んでいるとは思えない。担当者

はやる気があるのか。町長は実態を承知しているのか。

A (上村町長)

ブログの取り扱いについては以前より問題点が多いとの情報から開始前に担当課とも何度も協議を行いました。

相手の側に立って対応ができていない現状に、大いに反省し改善を行いたいと考えています。

A (村上産業振興課長)

今後の対応については、十分に注意を払い、即時対応に努めて参ります。

定住希望者の問い合わせは現在までに10件あり、そのうち現地案内したのは5件ですが成立に至っていません。

定住実績は昨年7月

と10月に1名ずつ魚島で漁業を営みたい希望者があり、現在公営住宅に居住しています。今月12日にもう一夫婦が来町予定です。

森本裕人議員



災害対策本部設置時の職員の配置について

Q 今後30年以内に50%の確率で必ず発生する東南海、南海地震、近年世界中で大規模な自然災害が頻繁に発生し、多くの方々が死傷している。

上島町においても地震、風水害、山林火災等の重大な災害が何時

起こるとも限らない。気象庁が発表する警報（大雨、洪水、高潮など）が発令され、災害対策本部が勤務時間外に設置された場合、上島町の職員でありながら上島町以外に住所を有している10名の職員の配置について他の職員と平等になる対応についてお伺いしたい。

A (宮川消防長)

上島町以外に住所を有している職員は上島町地域防災計画に定められている配備体制等に基づき所属長の指示により参集しています。

夜間や船の欠航等で上島町に参集することが出来ない時は、船の運航が可能になるまで自宅か港務所などで待機することになります。

町外職員が帰宅前の場合で事前に台風その他大雨、洪水等災害が予想される場合は、帰

宅せず災害対策等の職員として任務に就くこととなります。

選挙区制と議員定数の削減について

Q 議員定数の削減、小選挙区について、殆どの地域のまちづくり懇談会の共通意見として町民の声が多くあつた。離島同士といえども、一つの町であり県下でも同様の流れとなっている。

先輩たちが汗水垂らして合併の調印まで漕ぎ着けた合併協定書を遵守する義務が議会側にもある。

生名・岩城・弓削区長会等からも定数削減等の要望書がきていますが、町長の考えをお伺いします。

A(上村町長)

政治に携わる者は町民の声や意見を大切に

しなければなりません。各地区からの要望書や町づくり懇談会での直接の意見、行政改革推進委員会からの答申が今回のように扱われることは、町民軽視につながるものと危惧しております。

議会は町民の意見を広く吸い上げる機関として、町民の皆様と直接説明する機会を設けることが肝要であると考えております。

私は町民と議会の架け橋として理解を得る努力を尽くしてまいります。



土居計彦 議員



「食の安全」をはかるため、町内の「地産地消」を推進したい

Q 中国製餃子、農薬問題に端を発し、食の安全が問われている。

町内の地産地消を推進したい。遊休農地や耕作放棄地を町で借りあげたり、買い取る等して貸農園を作り地元産農産物を増やしたい。策定中である「上島町農村計画」とも併せて、今後の取り組みを聞きたい。

A(村上産業振興課長)

小中学校の給食に地元産の食材を利用して朝市及びショッピング

モール内で地元の柑橘、野菜の販売も行っています。

遊休農地や耕作放棄地対策については、農山漁村活性化計画を平成20年度前期で作成し、遊休農地解消、再活用等に向けて整備計画をしています。

豊かな自然環境との調和を図り、住民が主体となつて課題の改善及び施策の展開に取り組める活性化構想であります。計画書が出来あがり次第、ハード事業に取り組みます。

大西宗一 議員



がけ崩れ対策について

Q まちづくり懇談会にも話があった、がけ崩れ対策についてお伺いします。高井神地区の公民館の山側斜面。

魚島地区の学校の裏側の道路等、何箇所もある。危険箇所のある対策を、1箇所からでも予算化を。

A(中村魚島総合支所長)

高井神公民館の山側斜面は過去何度か崩れ、まち懇でも要望があり、平成18年度県営事業として実施できるか県の担当職員と現地調査をしました。用地買収等に問題があり、実施に至りませんでした。

その後、県単がけ崩れ防災対策事業を活用して21年度の採択に向け要望するため、20年度町単独で測量設計の委託料を計上しています。

今後も限られた財源の中で緊急度と補助事

業の有無等を勘案しながら、危険箇所の防災対策を実施したい。

高井神小学校の今後について

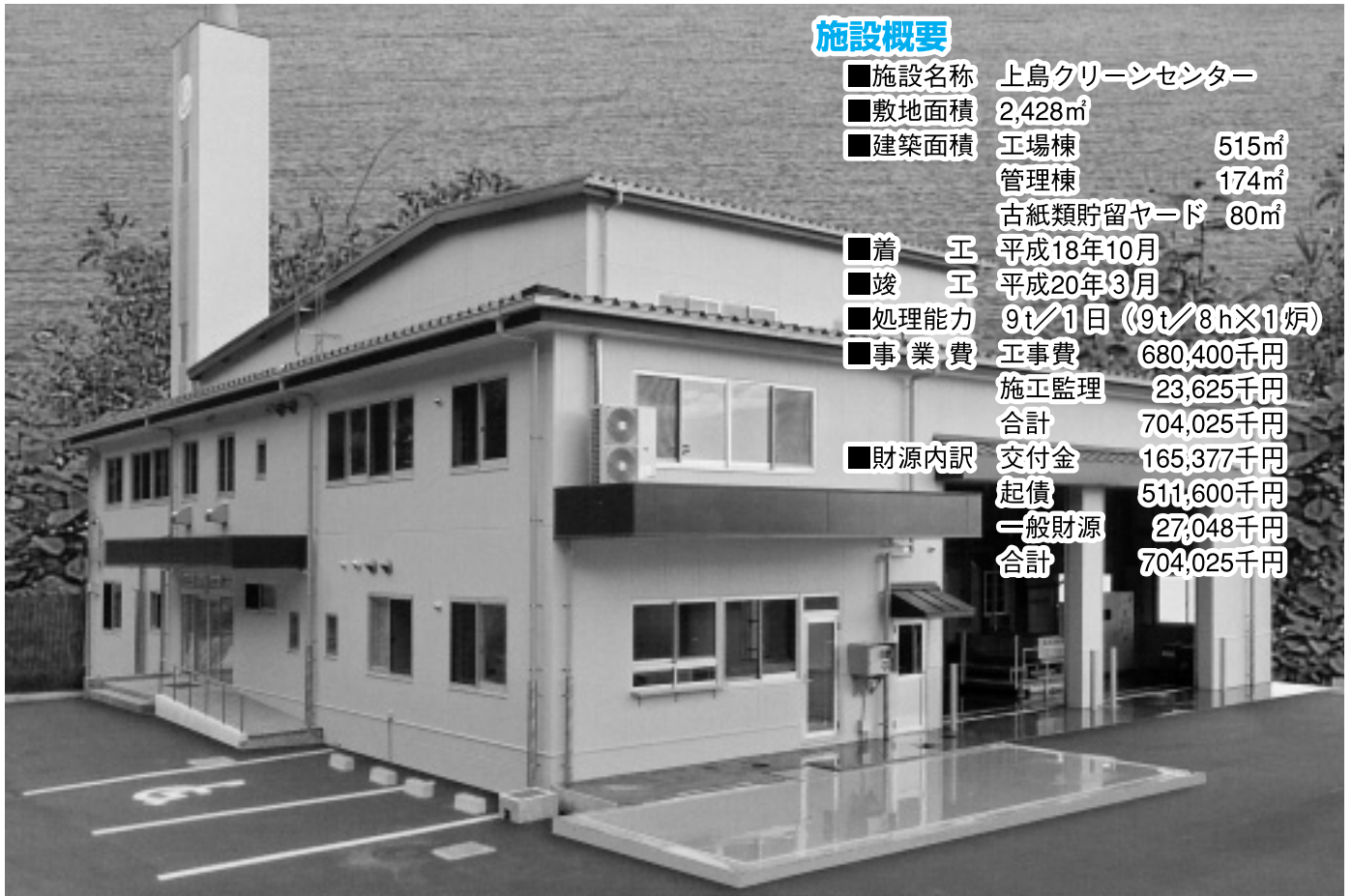
Q 児童が引越して居なくなったので、4月から休校になると思うのですが、休校から一気に廃校になるのではと心配している。

A(藤川教育課長)

高井神の小学校につきましてはは島内に、児童・生徒が在籍していないので、平成20年2月4日付で休校の措置をしました。

再度当該校への児童・生徒の新規在籍があれば復校という措置をします。

魚島地区、高井神地区、いずれの学校も地域性など諸事情を鑑み現時点では「統廃合」は考えにありません。



施設概要

■施設名称	上島クリーンセンター		
■敷地面積	2,428㎡		
■建築面積	工場棟	515㎡	
	管理棟	174㎡	
	古紙類貯留ヤード	80㎡	
■着工	工	平成18年10月	
■竣工	工	平成20年3月	
■処理能力	9t/1日 (9t/8h×1炉)		
■事業費	工事費	680,400千円	
	施工監理	23,625千円	
	合計	704,025千円	
	■財源内訳	交付金	165,377千円
	起債	511,600千円	
	一般財源	27,048千円	
	合計	704,025千円	

議会の傍聴について

議会の傍聴はどなたでもできます。

定例会は3月・6月・9月・12月に開催され、臨時議会は必要な都度開催されます。

なお、定例会や臨時会の開会日は、決定次第上島町ホームページの議会情報コーナーに掲載しています。

《上島町ホームページ <http://www.town.kamijima.ehime.jp>》

議会の活動 (前号掲載分以降)

月	日	活動内容	月	日	活動内容
3	4	第3回全員協議会 (17名)	4	8	上島町立小学校入学式 (15名)
3	10	第1回定例会 (全員)	4	9	上島町立中学校入学式 (13名)
3	17	上島町立中学校卒業式 (16名)	6	8	花と音楽の会 (11名)
3	18	第1回定例会 (最終日) (全員)			
3	24	上島町立小学校卒業式 (15名)			
3	25	上島町立生名中学校閉校式 (16名)			
3	26	上島クリーンセンター竣工式 (15名)			